

GEヘルスケア・ジャパン
“ビッグデータイメージングシリーズ”に循環器向け超音波診断装置
「Vivid S60」を投入、
先進の画像クオリティで日常診療のエコー診断を実現
～ハイエンド機能をそのままに小型軽量化に成功、院内のあらゆるシーンでビッグ
データの共有を可能に～（2016/04/04）

●「Vivid S60」製品特長

・ビッグデータプラットフォーム「cSound」搭載

従来のハードウェアによる超音波送受信を全てソフトウェアで行うことにより、より多くの送受信情報（ビッグデータ）を高速演算処理ユニットで同時並列多重プロセスから画像化することに成功。心臓領域から腹部・血管まで幅広い領域において、高画質と高フレームレート（リアルタイム性）の両立を実現した。

・すぐに使いこなせる高い操作性

タブレット型タッチパネルと最適に設計されたキー配列により、スムーズな操作性を実現。従来のVividシリーズと変わらない操作性を継承しているため、導入後すぐにスムーズな操作が可能。

・モビリティの高い、小型軽量ボディ

狭小な日本の医療施設でも導入しやすいコンパクトな設置面積。バッテリー内蔵によりシャットダウンや再起動の時間を待つことなく院内どこでも持ち運び、検査が可能に。



Vivid S60